

認定看護師は看護師の研修を支援しています！！

認定看護師は「実践・指導・相談の3つの役割を担う」とされており、院内の看護師研修を支援しています。

今回は平成30年10月22日～10月26日に当院において開催された、循環器病看護エキスパートナース研修会をご紹介します。この研修では九州各地より研修生14名が参加し、循環器疾患・治療・看護について学びを深めました。これに集中ケア認定看護師・緩和ケア認定看護師・糖尿病看護認定看護師・特定行為研修修了看護師もお手伝いさせていただきました！！

企画・準備

集中ケア認定看護師・教育師長を中心に企画し、各担当者と打ち合わせを行い、研修内容の確認や役割分担などを行いました。



懇親会

研修初日には、懇親会を開催し、美味しい料理とお酒を楽しみながら、研修生と親睦を深めました。



フィジカルセサメント 実践の様子



集中ケア認定看護師

循環器看護においては欠かせないフィジカルアセスメントについて、基本技術だけでなく、看護ケアに繋がるよう正常異常の判断のコツを話しました。また、救急・重症患者の家族への看護として、患者・家族の精神的特徴や心のケアについて、一緒に考えました。

講義の様子



緩和ケア認定看護師

循環器における末期医療について緩和ケアの立場から患者・家族の全人的苦痛の軽減について話しました。また、目の前にいる患者・家族のニーズを把握し、意思決定支援やその人らしさを支える必要があることを話しました。

糖尿病看護認定看護師

患者が自分らしく病気と付きあうためにエンパワメントアプローチや、患者の語りを聴くことが重要であることを伝えました。また自分の体験を通して、コミュニケーションスキルやレディネスを捉えることの重要性などアドバイスしました。

特定行為研修修了看護師

カテーテル検査・治療を行う患者の受診から入院までの経過や、患者の理解に合わせた説明、休薬など注意点について説明しました。また、カテーテル室担当看護師が必要としている情報や看護の流れについて研修生がイメージできるよう、実際に踏まえ説明を行いました。